

ス イ ス

Swiss Confederation

	2006年	2007年	2008年
①人口：770万人（2008年末暫定）			
②面積：4万1,284km ²			
③1人当たりGDP：6万7,385米ドル （2008年）			
④実質GDP成長率（%）	3.4	3.3	1.6
⑤貿易収支（スイス・フラン、財のみ）	120億6,450万	139億5,490万	194億4,699万
⑥経常収支（スイス・フラン）	731億8,100万	514億6,800万	492億7,100万
⑦外貨準備高（米ドル）	380億9,370万	444億7,420万	450億6,090万
⑧為替レート（1米ドルにつき、 スイス・フラン、期中平均）	1.2538	1.2004	1.0831

〔注〕④～⑥：2008年は暫定値
〔出所〕①②：スイス連邦統計局，③⑦⑧：IMF（IFS），④～⑥：スイス国立銀行

2008年のスイス経済は、年後半に入って急速に後退し、GDP成長率は前年を下回る1.6%にとどまった。貿易は、第4四半期以降、輸出入ともに減少に転じたが通年ではともに前年比増となり、貿易収支の黒字幅は拡大した。直接投資は対内投資額が前年を大きく下回った一方で、対外投資額は大幅増となったが、大型投資案件は一部の有力企業に集中している。対日貿易は、輸出入ともに増加したが、輸入の増加幅が輸出を上回ったことから対日貿易の黒字幅は縮小した。両国は2009年2月、日本・スイス自由貿易・経済連携協定（FTEPA）に調印し、今後の両国間の貿易および投資の拡大が期待されている。

■景気悪化で経済成長は1.6%にとどまる

2008年のスイス経済は年後半から急速に悪化し、第4四半期の実質GDP成長率が前年同期比マイナス0.6%と落ち込んだ結果、通年では前年の3.3%を大幅に下回る1.6%となった。金融危機による打撃はUBSとクレディスイスの国内二大銀行に限定されたが、その後の急速な世界経済の悪化で、前年に9.4%増と好調だった輸出が第4四半期に前年同期比7.2%減と落ち込み、通年で2.3%増にとどまった影響が大きい。企業による設備投資も1.9%減、建設投資も2.9%減と不振だった。しかし、個人消費は1.7%増と引き続き堅調で、景気を下支えした。景気の悪化は雇用には遅れて表れ、失業率は年平均で2.6%と低い水準だったが、秋以降、受注減から企業が雇用調整を進めており、12月には3.0%に上昇した。

■貿易黒字は過去最高額を更新

2008年の貿易は、輸出が前年比4.5%増の2,063億2,800万スイス・フラン（以下CHF）、輸入は前年比1.8%増の1,868億8,100万CHFとなった。貿易収支は194億4,700万CHFで、過去最高だった前年の139億5,500万CHFを大きく上回った。しかし、秋以降の景気悪化から、輸出入とも第4四半期に入って大幅に縮小し、それぞれ前年同期比4.4%減、7.2%減となった。

輸出を品目別にみると、最大品目は化学品で輸出全体の34.9%を占めており、4.5%増と好調だった。化学品の中で最大の品目は医薬品（構成比26.8%）で8.1%増と好調だった。化学品に次ぐ品目は機械および電気・電子機

器（21.2%）で1.7%増にとどまった。産業用機械（13.2%）が建設、繊維、製紙機械などの不振により0.4%減と低迷したためだが、電気・電子機器（6.5%）は6.0%増と好調だった。機械および電気・電子機器に次ぐ精密・光学機器、宝飾品（18.4%）も7.4%増と好調だった。近年、新興国の富裕層向け市場において順調に高額商品の販売を増やしてきた時計（8.3%）は6.8%増と4年続けての輸出拡大となった。しかし、スイス時計協会によれば、秋以降、時計の輸出額は減少に転じ、11月、12月には前年同月比15.4%減、7.6%減と急激に落ち込んだ。金属・同製品（7.4%）も1.4%減と低迷したが、アルミニウムが年後半からの価格下落と自動車産業不振により11.5%減と不振だったことによる。一方、農林水産物・食品（4.1%）は好調で、飲料、コーヒーがそれぞれ37.5%増、32.7%増と大幅な伸びとなった。

国・地域別では、EU27への輸出が61.9%を占めており、従来から医薬品と機械および電気・電子機器が主要輸出品目となっているが、2.6%増にとどまった。EU27を国別にみると、ドイツ（構成比20.3%）、イタリア（8.8%）、フランス（8.6%）の3カ国が大きく、3カ国合計で37.7%になる。EU27域外の最大輸出相手国は米国（9.4%）で、機械、医薬品、時計などが主要輸出品目となっており、5.8%増と堅調だった。EU域外で米国に次ぐ中国（香港を含む）は近年、輸出先として重要性を高めてきており、2008年も12.3%増と高い伸びを示し、全体の4.9%を占めた。

輸入を品目別にみると、化学品が全体の20.5%を占めて最大だが、前年比7.2%減と不振だった。これは化学・

表1 スイスの主要品目別輸出入 <通関ベース>

(単位: 100万CHF, %)

	輸 出 (FOB)				輸 入 (CIF)			
	2007年		2008年		2007年		2008年	
	金 額	金 額	構成比	伸び率	金 額	金 額	構成比	伸び率
農林水産物・食品	7,463	8,455	4.1	13.3	13,403	14,198	7.6	5.9
燃料・エネルギー	4,945	6,514	3.2	31.7	13,184	17,467	9.3	32.5
繊維・衣類・靴	4,637	4,469	2.2	3.6	10,040	10,040	5.4	0.0
紙・紙製品	3,661	3,601	1.7	△1.7	5,666	5,647	3.0	△0.3
皮革・ゴム・プラスチック	5,267	5,200	2.5	△1.3	6,552	6,616	3.5	1.0
化学	68,811	71,919	34.9	4.5	41,260	38,272	20.5	△7.2
医薬品	51,140	55,274	26.8	8.1	23,269	23,749	12.7	2.1
鉱石・鉱物	1,072	1,057	0.5	△1.4	3,187	3,193	1.7	0.2
金属・同製品	15,498	15,276	7.4	△1.4	18,477	18,089	9.7	△2.1
機械および電気・電子機器	43,065	43,803	21.2	1.7	35,118	35,616	19.1	1.4
産業用機械	27,309	27,203	13.2	△0.4	14,318	14,948	8.0	4.4
電気・電子機器	12,749	13,510	6.5	6.0	11,362	11,532	6.2	1.5
輸送用機器	5,722	6,095	3.0	6.5	17,098	16,747	9.0	△2.1
道路輸送用機械	2,535	2,341	1.1	△7.7	12,943	13,431	7.2	3.8
精密・光学機器、宝飾品	35,388	37,988	18.4	7.4	13,678	15,134	8.1	10.6
精密機器	13,978	14,909	7.2	6.7	6,723	7,102	3.8	5.6
時計	15,956	17,034	8.3	6.8	2,536	2,764	1.5	9.0
家具・玩具	2,003	1,956	0.9	△2.3	5,914	5,862	3.1	△0.9
合 計	197,533	206,328	100.0	4.5	183,578	186,881	100.0	1.8

[注] 表2, 8とも, 財のみ。貴金属・宝石, 美術・骨董品を除く。2008年は暫定値。

[出所] 表2, 8とも, スイス連邦関税局。

表2 スイスの主要国・地域別輸出入 <通関ベース>

(単位: 100万CHF, %)

	輸 出 (FOB)				輸 入 (CIF)			
	2007年		2008年		2007年		2008年	
	金 額	金 額	構成比	伸び率	金 額	金 額	構成比	伸び率
EU	124,408	127,696	61.9	2.6	150,267	151,778	81.2	1.0
ユーロ圏	105,073	107,544	52.1	2.4	137,156	139,477	74.6	1.7
ドイツ	41,150	41,802	20.3	1.6	62,171	64,790	34.7	4.2
イタリア	17,524	18,233	8.8	4.0	20,589	21,351	11.4	3.7
フランス	16,662	17,728	8.6	6.4	17,858	18,016	9.6	0.9
非ユーロ圏	19,335	20,152	9.8	4.2	13,111	12,300	6.6	△6.2
英国	9,413	9,695	4.7	3.0	7,076	5,994	3.2	△15.3
米国	18,407	19,469	9.4	5.8	9,426	9,450	5.1	0.3
中国(香港を含む)	8,983	10,088	4.9	12.3	5,592	6,002	3.2	7.3
日本	6,166	6,288	3.0	2.0	2,692	2,965	1.6	10.1
合 計	197,533	206,328	100.0	4.5	183,578	186,881	100.0	1.8

プラスチック原料(構成比5.0%)が27.3%減だったことによるものだが, 最大品目である医薬品(12.7%)は2.1%増と堅調だった。2位は機械および電気・電子機器(19.1%)だが, 1.4%増にとどまった。産業用機械(8.0%)が, 4.4%増と好調だったが, 事務用機器(4.5%), 家電類(1.8%)がともに2.7%減と不振だったためである。このほか, 原油価格の高騰により燃料・エネルギー(9.3%)が32.5%増と大幅増となった。

国・地域別では, 構成比の81.2%を占めるのがEU27だが1.0%増にとどまった。国別では, ドイツ(構成比34.7%), イタリア(11.4%), フランス(9.6%)の順に多く, この3カ国で全体の55.7%を占めている。スイスは原油・天然ガスの輸入先として, 近年リビア(1.8%)との取引を拡大し, 前年比2倍増となった一方, ロシアからは原油輸入を減らしている。ロシアは55.5%減となり, 輸出全体に同国が占める比率は0.3%に落ち込んだ。

EU域外では, 米国(5.1%)が最大だったが0.3%増と低迷した。これに次ぐのが, 香港を含む中国(3.2%)で, 2004年以来2ケタ台の増加率を記録していたが, 2008年は7.3%増にとどまった。

■大型の対外投資は一部の 大企業に集中

スイス国立銀行によれば, 2007年の対内直接投資額(国際収支ベース, ネット, フロー, 対外も同じ)は, 591億1,300万CHFとなり, 過去最高となった。化学部門では, ドイツのメルク(医薬品)によるセローノ(バイオ医薬品)買収(2007年1月完了, 買収額166億CHF)が, 資金運用部門(金融, ホールディング)では, フランスのスコール(再保険)によるコンベリアム(再保険)買収(2007年8月, 33億4,000万CHF), イタリアのBSI(金融)によるゴッタルド銀行(買収完了は2008年3月)買収(17億7,200万CHF), サービス部門で南アフリカ共和国のメディ・クリニック(医療機関)によるスイスの大手医療機関ヒルスランデンの買収(2007年8月, 36億CHF)などの大型の案件があったためと, 利益の再投資が行われたためである。国別では, EU27による直接投資が91%を占めており, ドイツが最大だった。

2008年の対内直接投資額は, 過去最高となった前年を下回る188億6,200万CHF(速報値)。2009年5月現在, 総額のみ発表。業種別・地域別統計は2009年12月に発表予定)となった。投資案件では, 11月に発表され2009年4月に完了したドイツのBASF(化学)がチバ(化学)を約61億CHFで買収したのが最大である。米国のブラックロック(金融)が, 金融危機で多額の損失を出したUBSから5月にUBSモーゲージアセットを買収(16億5,000万CHF)した案件も大きい。UBSには政府が60億CHFに上る資本注入を実施し救済を図ったが,

表3 スイスの対内・対外直接投資の推移
<国際収支ベース, ネット, フロー>

(単位: 100万CHF)

	2005年	2006年	2007年	2008年
対内直接投資	△1,184	38,667	59,113	18,862
対外直接投資	63,651	95,068	59,612	93,466

[注] 2006年, 2007年は暫定値, 2008年は速報値。

[出所] 表4, 5とも, スイス国立銀行。

表4 スイスの業種別直接投資
 <国際収支ベース、ネット、フロー>

(単位：100万CHF)

	対内直接投資		対外直接投資	
	2006年	2007年	2006年	2007年
製造業	11,685	26,887	55,779	24,856
化学	4,724	18,042	23,224	6,181
金属・機械	5,778	6,225	9,748	5,173
電気・光学・時計等	1,381	1,960	3,553	1,863
サービス業	26,982	32,226	39,289	34,755
商業	1,368	2,869	△2,239	△855
資金運用	13,433	21,985	8,895	14,769
銀行	1,553	3,420	21,907	12,187
保険	13,370	1,712	8,942	△3,608
運輸・情報	△2,065	1,052	1,325	7,338
合計	38,667	59,113	95,068	59,612

[注] 資金運用は、資本の大半が外国資本である場合も含む。
 表5とも、暫定値。

表5 スイスの国・地域別直接投資
 <国際収支ベース、ネット、フロー>

(単位：100万CHF)

	対内直接投資		対外直接投資	
	2006年	2007年	2006年	2007年
E U	29,083	53,707	36,247	32,137
ドイツ	1,134	16,769	8,854	3,841
オランダ	8,188	13,382	△6,189	△2,144
オーストリア	2,534	13,022	1,730	670
ルクセンブルク	3,264	4,367	7,603	11,562
フランス	13,895	1,919	1,704	1,366
イタリア	428	753	1,736	8,390
英国	△1,896	△428	6,785	9,611
米国	3,834	3,630	21,100	△7,531
中南米	164	350	21,346	16,463
シンガポール	n.a.	n.a.	4,442	△1,148
中国	n.a.	n.a.	919	774
日本	△90	△44	645	2,767
合計	38,667	59,113	95,068	59,612

クレディスイスは、民間による投資で資本増強することを選択し、カタールのカタール・インベストメント・オーソリティーやイスラエルのコール・インダストリーズが資本参加した。

スイスの立地条件の良さ、労働者の言語能力の高さ、各州政府の誘致政策による法人税減免などの理由で、欧州本社や事務所の設立事例がみられた。例えば、ブラジルのバーレ（鉱山開発）、英国のキャドバリー（チョコレート・チューインガム）、米国のパーカー・ハニフィン（配管パーツ技術）などがポー州に欧州本社の設立を発表したほか、2009年3月には、米国のロード・コーポレーション（航空産業技術）がジュネーブ州に欧州本社を設立すると発表している。

2007年の対外直接投資額は、596億1,200万CHFとなり、好景気で海外投資が盛んに行われた前年の数字を下回った。これは、買収が活発でなく、再投資が減少したことに加え、サブプライムローン（米国の信用力の低い個人向け住宅融資）による損失問題があったことが理由として挙げられる。主な事例としては、ネスレ（食品）による米国のガーバー（ベビーフード）買収（2007年9

月、67億400万CHF）、スイスコム（通信）によるイタリアのファストウェブ（通信）買収（2007年8月、49億7,500万CHF）、ジボダン（香料）によるオランダのクエスト・インターナショナルの買収（2007年3月28億CHF）などがあった。

2008年の対外直接投資額は、934億6,600万CHF（速報値）で、前年から大幅増となった。この中には、2008年7月から株式公開買い付け（TOB）による買収が進められたロシュによる米国のジェネンテック（バイオ薬品）買収（2009年3月完了）が含まれており、同案件は501億5,000万CHFで、スイスのM&A史上最高額である。しかし、金融危機以降、大口の資金調達が困難になり、一部の有力企業を除いては、大型の対外直接投資をしにくくなっている。

2008年には電力関連会社による活発な投資がみられた。EUが2007年から電力市場を完全開放したことが大きな理由である。2008年には、地域電力会社アテルとEOSが合併し、スイス最大の電力会社アルピックが誕生したが、ここにフランスのEDFが最大株主（持ち株比率25%）として出資している。また、電力供給のグループEがドイツの石炭火力発電所建設に投資したり、EOSがフランスのセリー（再生可能エネルギー）の資本の35%を買収したりと、スイスの電力会社がEU市場に投資する動きもみられた。

■日本・スイス経済連携協定を締結

2008年の対日貿易は、輸出が前年比2.0%増の62億8,800万CHF、輸入が10.2%増の29億6,500万CHFとなった。対日貿易は恒常的にスイス側の出超が続いているが、貿易収支の黒字幅は33億2,300万CHFとなり、前年の34億7,400万CHFから縮小した。

対日輸出品目をみると、化学製品が全体の44.5%を占め、前年比9.7%増と大きな伸びを示した。そのうち約9割が医薬品（構成比41.9%）で9.9%増と好調だった。これに続くのが時計（18.4%）だが、スイス製品は高額商品が中心で、景気低迷から4.4%減と不振だった。産業用機械（8.1%）も10.8%減と大幅な減少となった。このほか家電品（前年比36.3%減）、事務機器（26.2%減）なども不振だった。

対日輸入は10.2%増と前年に引き続いて増加した。最大の輸入品目である道路輸送機器（構成比31.7%）が0.2%減と低迷した。装身具・装飾品（11.2%）は、前年の4.6倍もの伸びとなったが、高額商品の取り引きがあったためとみられる。化学製品（13.8%）、化学・プラスチック原料（8.1%）はともに5.5%増、3.7%増と金額ベースでは増加したが、数量ベースではそれぞれ6.2%減、23.1%

表6 スイスの主要対内直接投資 (M&A) 案件 (2008年)

(単位: 100万 CHF)

投資企業 (国籍)	被投資企業	業 種	投資額	時 期
BASF (ドイツ)	チバ	化学・薬品	6,100	2009年4月完了
BSI (イタリア)	ゴツタルド銀行	金融	1,772	2008年3月
ブラックロック (米国)	UBS モーゲーリアセツ	金融 (不動産)	1,650	2008年5月
ラベラックス・グループ (オーストリア)	バリー・インターナショナル	婦人用革靴	640	2008年4月
レノバ・インダストリーズ (バハマ*)	エリコン	半導体	575	2008年4月
エッシロール・インターナショナル (フランス)	ザティスロー・ホールディング	眼科医療機器	550	2008年6月
LVMH (フランス)	ウプロ	時計	500	2008年4月
ラムリサーチサービス (米国)	SEZ ホールディング	半導体	450	2008年3月
カピオ (スウェーデン)	ユニラプス	治験施設	420	2008年5月
ハイネケン (オランダ)	アイヒホフの飲料部門	ビール醸造	290	2008年8月

[注] *バハマ国籍だがロシアとオーストリアの合弁。

[出所] 表7とも、各社発表、各種報道に基づきジェトロ作成。

表7 スイスの主要対外直接投資 (M&A) 案件 (2008年)

(単位: 100万 CHF)

投資企業	被投資企業 (国籍)	業種	投資額	実行日
ロシュ	ジェネンテク (米国)	医薬品	50,150	2009年3月完了
ノバルティス	アルコン (米国)	眼科医療機器	11,302	2008年7月
ロシュ	ヴェンタナ (米国)	医薬品	3,884	2008年2月
エクストラータ	ジュビリーマインズ (オーストラリア)	鉱山開発	3,200	2008年2月
グレンコア・インターナショナル	センチュリーアルミニウム (米国)	アルミニウム	1,950	2008年7月
STマイクロエレクトロニクスNV・ワイヤレス	NXPセミコンダクター・ワイヤレスOp (オランダ)	半導体	1,651	2008年7月
チューリヒ・ファイナンシャルサービス	パンコ・サパデル・ビダSA・デ・セグーロス (スペイン)	生命保険	1,520	2008年9月
インベスター・グループ	マーブル・バー・アセットマネジメント (英国)	投資顧問	1,411	2008年1月
スイス・リー	パークレイズ生命保険 (英国)	保険	1,305	2008年8月
スイスライフ	AWDホールディング (ドイツ)	投資顧問	1,288	2008年3月

表8 スイスの対日主要品目別輸出入上位10品目<通関ベース>

(単位: 100万 CHF, %)

	対日輸出 (FOB)					対日輸入 (CIF)			
	2007年		2008年			2007年		2008年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
化学製品	2,551	2,798	44.5	9.7	道路輸送機器	943	940	31.7	△0.3
時計	1,207	1,155	18.4	△4.3	化学製品	389	410	13.8	5.4
産業用機械	569	508	8.1	△10.7	装身具・装飾品	73	333	11.2	356.2
精密機器	456	467	7.4	2.4	化学・プラスチック原料	230	239	8.1	3.9
装身具, 装飾品	308	276	4.4	△10.4	精密機器	241	230	7.7	△4.6
化学・プラスチック原料	191	200	3.2	4.7	電気・電子部品	141	159	5.4	12.8
電気・電子部品	170	171	2.7	0.6	時計	100	124	4.2	24.0
金属品	170	165	2.6	△2.9	金属品	51	46	1.5	△9.9
衣類	137	128	2.0	△6.6	事務用機器	60	37	1.2	△38.3
食品	71	117	1.9	64.8	家電製品	30	31	1.0	3.3
合 計	6,166	6,288	100.0	2.0	合 計	2,692	2,965	100.0	10.1

減と大幅に減少している。このほか多くの品目で増加がみられるが、数量ベースでは、ほぼ前年並み、または前年比減となっていることから、円高の影響が大きかったとみられる。

スイスと日本との直接投資は、恒常的にスイス側の大幅な出超が続いているが、2007年の対日投資額が27億6,700万CHFだったのに対し、日本からスイスへの直接投資額は4,400万CHFの引き揚げ超過となった。日本の国際収支統計によれば、2008年はスイスから日本への投資、日本からスイスへの投資ともに好調で、日本からスイスが前年の69億円の引き揚げ超過から162億円に、スイスから日本が1,332億円から1,951億円へと大幅に拡大した。

2008年の対日投資の事例としては、バリーカレボー(チョコレート)による森永(チョコレート)の生産工場

の買収(2008年1月)やバリー・インターナショナル(革製品)によるバリー・ジャパン(革製品)の完全子会社化(6月)、ロシュ(医薬品)による中外製薬の持ち株比率引き上げ(50.1%から59.9%)、USBによるUSJ(遊園地)およびスターキャット・ケーブル・ネットワーク(ケーブルテレビ)の株式取得などが挙げられる。日本からスイスへの投資では、JTインターナショナル(たばこ)は2009年2月、ジュネーブ市内に新本社建設と400名の増員を発表した。

スイスと日本間の自由貿易・経済連携協定(FTEPA)は、2008年9月に合意され、2009年2月19日に署名が行われた。5月にスイス国会が、6月に日本も国会批准済みである。日本にとっては、欧州との初めてのEPAであり、今後の両国間の貿易および直接投資の拡大が期待されている。